

TSR REPORT

秘

企業要覧 1

フリガナ	サンプルキョウ			フリガナ	サンプル タロウ		
商号	サンプル企業 株式会社			代表者	サンプル 太郎		
英文商号	SAMPLE LTD.						
所在地	(〒 103-0027) 東京都中央区日本橋1-99-99						
	電話番号	03 (9999) 9999		F A X	03 (9999) 9999		
【登記上本社住所】 表記地							
資本金	200,000 千円 [無額面 円 授権株数 16,000 千株]						
主要株主	東京サンプル投資 (株), サンプル正太, サンプル太郎, サンプル次郎, サンプル三郎, サンプル四郎						
系列	東京サンプル投資 (株) [資本関係]			上場区分	未上場		
従業員数	382名 [他に臨時		12名]	工場数	1カ所	事業所数	6カ所
設立	昭和28年 5月	創業	昭和28年 5月	最近3ヵ月商	750,000 千円		
沿革	[前住所] 昭和49年 9月 移転 (東京都港区浜松町2-1-30)						
	[前商号] 昭和57年 6月 変更 (サンプル産業 (株))						
	商業登記0104-01-999999 社債:無 発行済4,000千株						
	昭和28年5月1日故サンプル正一郎氏が中心となり、東京都港区浜松町2-1-30において資本金1百万円をもってサンプル産業 (株) を設立。その後、数次の増資を経て同37年5月50百万円に増資すると共に同年厚木工場を開設。同49年9月1億50百万円に増資、同時に本社を東京都中央区日本橋1-99-99サンプルビルに移転。同54年6月東京サンプル投資 (株) の資本参加を得て資本金を2億円とし、同57年6月現商号に変更し、現在に至る。						
事業内容	産業用機械器具製造 (64.2%), 輸送用機械器具製造 (26%), その他 (9.8%)						
主要仕入先	佐川商事, ヤマック, 金田商会, 三浦製作所						
主要販売先	東京機械, 小川商事, アジア精鋼, イマダエンジニアリング						
取引銀行	サンプルバンク (丸の内)		東京商業 (新橋)		横浜中央 (芝)		
取引状況	固定預金	長期借入金	短期借入金	割引手形	(単位)		
	380,000	1,691,445	850,000	102,630	千円		
決算期	売上高 千円	経常利益 千円	利益金(*印は税込) 千円	配当総額 千円	決算書付		
平成25年 9月 (2013年)	8,945,212	99,634	46,655	20,000	有		
平成26年 9月 (2014年)	9,051,322	81,529	28,560	20,000	有		
平成27年 9月 (2015年)	8,756,514	68,106	19,660	10,000	有		
所見	中堅の産業用・輸送用機械器具メーカー。平成27年9月期は中国での需要減退が影響し減収。利益面では輸送コスト減少の反面、賃上げ等もあり、減益となった。平成28年9月期は販路の新規開拓を積極的に打ち出す方針で、輸送コスト減の効果と併せて増収増益を見込むが、資金力自体は充分とは云えない。						
企業診断 (評点)	経営者能力 [20点]	成長性 [25点]	安定性 [45点]	公開性・総合世評 [10点]	合計 [100点]	1. 警戒不要 80~100点	
	資産担保余力 経営姿勢 事業経歴	売上高伸長性 利益伸長性 商品市場性	業歴・自己資本 決済状況・金融取引 担保余力・取引関係	資料公開状況 総合世評		2. 無難 65~79点	3. 多少注意 50~64点
	11点	9点	25点	10点	55点	4. 一応警戒 30~49点	
						5. 警戒 29点以下	
扱品コード	業態	扱品コード	業態	扱品コード	業態	扱品コード	業態
362533	313266	312203	313110	317908	312147	3	3
支社コード	TSR企業コード		DUNSナンバー		整理番号	調査年月日	
98	98-999999-8		12-345-6789		A12345	平成28年 1月 5日	

当社は本TSR REPORTにかかわる損害賠償の責を一切負いません。受報者は本TSR REPORTの内容について絶対秘密厳守をお願いいたします。無断流用の場合は損害賠償の責を負うていただきます。

フリガナ	サンプル タロウ			男	昭和35年(1960年) 2月26日生	
氏名	サンプル 太郎				電話番号 043(999)9999	
現住所	(〒260-0003)千葉県千葉市中央区鶴沢町20-40					
出身地	東京都	人物	1・創業者 2・同族継承 3・内部昇進 4・外部招聘			
配偶者	1・有 2・無 3・不明	趣味	読書	観劇	ハイキング	
学歴	昭和53年	東京都立第三高等学校			1・卒業 2・中退	
	昭和57年	日本橋工業大学工学部金属工学科			1・卒業 2・中退	
斯業経験	33年	事業経験	9年	倒産歴	無()	
申告納税額	平成15年(10,224千円)			平成16年 公示外		
経歴・公職・関連事業・その他……						
昭和57年大学を卒業と同時に(株)TSR産業(産業機械販売)に入社、斯業経験を積み、同62年4月当社に転じる。平成5年9月取締役役に就任、生産統括本部を担当。同12年9月常務取締役役に就任、NC事業本部を担当。同14年9月専務取締役役に就任、営業統括本部を担当。同18年9月代表取締役社長に就任し、現在に至る。現在、東京都産業機械協議会会長などの公職を務める。温厚で誠実な人柄。						
経営者資産状況…[自宅住居:1.個人(本人・家族)名義 2.社宅 3.公団 4.借家 5.借マンション 6.アパート 7.その他]						
現住所地(土地182平米、建物275平米、平成27年度路線価100千円/平米)を代表個人名義で所有。数年来高額納税者の常連だったが、同16年度は公示無し。同17年度以降は公示制度廃止。						

商業登記簿から転記しております。
※申告納税額は、平成18年より公示制度廃止

役員	役名	*	[*印=非常勤] 氏名 (担当業務・その他)	持株単位(千株)
		代表取締役		サンプル 正太(会長/社長の実父)
	代表取締役		サンプル 太郎(社長/会長の長男)	750
	取締役		サンプル 次郎(専務/生産統括本部長/会長の次男)	250
	取締役		サンプル 三郎(常務/営業統括本部長/会長の三男)	100
	取締役		サンプル 四郎(厚木工場長/会長の四男)	100
	監査役	*	サンプル 正二(会長の実弟)	-
員				

役員外主要株主

株主名	持株単位(千株)	株主名	持株単位(千株)
東京サンプル投資(株)	1,500		
従業員持株会	95		
株主総数	36名(平成27年12月31日現在)	形態	1・同族 2・非同族 3・公募
		公告方法	官報

事業目的	1. 各種産業機械並びに部品の設計、製作
	2. 各種輸送用機械の設計、製作
	3. 各種精密機械の設計、製作
	4. 各種産業機械の卸・小売
	5. 各種輸送機械の卸・小売
	6. 各種精密機械の卸・小売
	7. 不動産管理業
	8. 生命保険の募集に関する業務
	9. 上記に付帯する一切の業務

主要事業所名	所在地	不動産保有形態 (単位: m ²)			
		土地	所有者	建物	所有者
本社	東京都中央区日本橋1-99-99サンプルビル	254	自社	1,204	自社
厚木工場	神奈川県厚木市中町4-16-18	2,900	自社	1,800	自社
名古屋支社	愛知県名古屋市中村区名駅南1-16-30東海ビル			283	借借
大阪支社	大阪府大阪市中央区西心斎橋1-2-4心斎橋ビル			312	借借
札幌支店	北海道札幌市中央区北4条西5-1札幌中央ビル			100	借借
仙台支店	宮城県仙台市青葉区中央3-2-24仙台青葉ビル			140	借借
広島支店	広島県広島市中区上八丁堀7-1広島八丁堀ビル			145	借借
福岡支店	福岡県福岡市博多区博多駅前4-2-1福岡博多ビル			216	借借

《備考》本社、工場は会社名義で所有している（平成27年度路線価は本社1,230千円/平米、工場290千円/平米）。

主要設備・車両

NC旋盤	各種旋盤	車両
各種プレス	各種溶接機器	什器・備品

《備考》生産設備主体の設備で、平成27年9月期末簿価17億4百万円。

設備投資	平成22年9月期は2月に老朽化した自動旋盤の更新に約1億円、7月本社ビル外壁工事に約50百万円の資金投下がされた。同23年9月期は生産ラインのメンテナンスを行う程度だったが、同25年9月期は生産設備の更新に約1億円を投下。平成27年9月期は一部の設備を約66百万円で売却処分している。
------	--

労務状況

従業員数 ※常勤役員を	1.含む	2.含まず	[現在正社員]	382名	[前期末正社員]	386名
	男	女	合計	平均年令	35.7才	
正社員	248名	134名	382名	平均月額給与	307,123円	
臨時	0名	12名	12名	平均勤続年数	13.8年	

労働組合(有) 上部団体加盟(無) [加盟団体名]

今後の人事(採用)計画・その他……平成27年4月新卒11名採用(技術部門4名、販売部門7名)。他、随時各事業所において欠員補充の中途採用を行っている。同28年4月新卒は5名採用予定(技術部門3名、販売部門2名)。なお、平成26年度、同27年度にベースアップが実施されている。

事業内容(扱品)					
品名	扱い形態	構成比%	品名	扱い形態	構成比%
産業用機械器具	製造	64.2	その他各種産業用機械器具	製造	9.8
輸送用機械器具	製造	26.0			
《備考》上記は平成27年9月期実績。構成比としては輸送用機械器具が伸長傾向にある。					
主 要 取 引 先	仕入先	所在地	仕入品目	構成比%	関係内容・取引形態
	佐川商事	東京都港区	鋼材など	9.1	期日現金(120日)
	ヤマック	東京都北区	制御装置・駆動装置など	9.0	期日現金(120日)
	金田商会	東京都目黒区	制御装置	8.7	期日現金(120日)
	三浦製作所	千葉市中央区	制御装置	6.0	120日手形決済
	海津製作所	千葉県船橋市	制御装置製作外注	6.0	期日現金(120日)
	富士工機	東京都中央区	筐体製作外注	4.9	半金半手(120日)
	大山物産	東京都品川区	筐体製作外注	3.8	半金半手(90日)
	岩井商事	東京都千代田区	電子部品・制御基盤など	3.0	期日現金(120日)
	山鉄商事	東京都中央区	鋼材など	2.1	期日現金(120日)
	海山金属	東京都中央区	鋼材など		期日現金(120日)
アーバン	東京都中央区	電子部品など		期日現金(120日)	
田中製作所	東京都中央区	制御基盤など		期日現金(120日)	
《備考》上記は平成27年9月期実績。取引先総数は約100社前後と取引が行われている。					
取 引 先	販売先	所在地	販売品目	構成比%	関係内容・取引形態
	東京機械	東京都中央区	産業用機械	5.0	手形・延現金
	小川商事	東京都中央区	輸送用機械	3.0	期日現金(120日)
	アジア精鋼	東京都港区	産業用機械		期日現金(120日)
	イマダエンジニアリング	東京都中央区	産業用機械		期日現金(120日)
	丸山工業	東京都千代田区	輸送用機械		期日現金(120日)
	司商事	愛知県豊田市	産業用機械		期日現金(120日)
	山河電機	横浜市中区	産業用機械		手形・延現金
	東華産業	横浜市西区	輸送用機械		期日現金(120日)
	チベット電気	東京都中央区	産業用機械		手形・延現金
	TSR産業	東京都港区	産業用機械		手形
	北川工販	東京都中央区	産業用機械		手形
	松山リフト	東京都目黒区	輸送用機械		手形
	《備考》上記は平成27年9月期実績。機械メーカー、実需先、商社等販売先は多岐に亘る。上記大口先に大きな変化は見られない。				

決済条件					
支払条件 〔20日締〕 〔翌月末日払〕	手形 自振(90日~120日)	20%	回収条件 〔区々日締〕 〔区々日受〕	手形 自振(120日~)	20%
	裏書(日~ 日)	%		裏書(日~ 日)	%
	延現金(40日~190日)	80%		延現金(30日~180日)	60%
	その他()	%		その他(ファクタリング)	20%
《備考》手形支払は大幅に減っており、期日指定現金へ移行。直接の海外取引は無し。			《備考》手形回収は大幅減で、期日指定現金へ移行。従来の割引手形はファクタリングに代替。直輸出は無し。		

焦付債権	平成23年9月中部産業が銀行取引停止処分により、同社向け債権(約5百万円)が焦付、同23年9月期償却。平成27年9月期は焦付は無いものの、一部で滞留債権が発生している。
------	--

金融取引形態		平成27年12月31日現在				(単位: 千円)	
取引先名 (支店)	固定預金	長期借入金	短期借入金	サイト 割引手形(120日)	他(私募債)	見返資産 動産	不動産
サンプルバンク(丸の内)	150,000	847,654	150,000	0	200,000	○	○
東京商業(新橋)	100,000	367,568	300,000	0	0	○	
横浜中央(芝)	50,000	139,655	200,000	0	0	○	
いちご(東京)	50,000	151,224	200,000	0	0	○	
お台場信金(築地)	30,000	185,344	0	102,630	0	○	
合計	380,000	1,691,445	850,000	102,630	200,000		

〔借入返済・金利〕長期2～3%、短期1.5～2.0%、手形割引2%前後。 借入合計
〔月商〕 = 3.8 倍

既往業績 推移	決算期	売上高 千円	利益金(*印は税込) 千円	売上利益率	売上伸長率
	平成22年 9月(2010年)	8,606,388	38,002	0.44%	91.2%
平成23年 9月(2011年)	8,905,325	69,654	0.78%	103.5%	
平成24年 9月(2012年)	8,850,365	32,670	0.37%	99.4%	
平成25年 9月(2013年)	8,945,212	46,655	0.52%	101.1%	
平成26年 9月(2014年)	9,051,322	28,560	0.32%	101.2%	
平成27年 9月(2015年)	8,756,514	19,660	0.22%	96.7%	

資金状況・金融取引状況・その他……

【資金状況】

平成27年9月期の推定キャッシュフロー(以下CF)に於いて、営業CF-32百万円、投資CF+1億11百万円、財務CF-1億29百万円と計算され、本業及び借入返済のマイナス分を主に固定資産の売却分で賄っている状況にある。営業CFがマイナスとなった要因としては、収支バランスが悪化(売上債権の増減-支払債務の増減=約44百万円減)したことによる。財務分析の指標では、受取債権回転期間121日(前期比-1日)、棚卸資産回転期間42日(同+1日)に対して、支払債務回転期間96日(同-7日)と前年比で支払先行分が月商の約1週間分大きくなった計算となる。

手元現金は10億63百万円と月商1ヶ月分以上の保持を続けているが、在庫負担と合わせた運転資金需要は月商の2ヶ月超分となっている点は考慮しておきたい。

自己資本比率37.5%と、標準比率には及ばないものの毎期確実に内部留保を蓄積している点は評価に値する。一方、相対的に工場設備投資への資金投下が旺盛であり、現在の借入残は過去の大型設備投資によるところが大きい。今回設備の一部を売却しているが、上記のごとく本業の資金需要に一部があてがわれていると計算される点は注意したい。

【金融取引状況】

資金調達は上記金融機関からの長期借入を主体に、短期借入は近年8億50百万円で固定している。また、平成21年1月サンプルバンク引受の私募債2億円(8年後一括償還)を発行することで資金調達の安定化が図られ、現在運転資金に充当されている。資産背景としては本社不動産と工場不動産があるが、本社不動産はサンプルバンクが計14億円の根抵当権を設定しており資金調達余力は窺えない。

【その他】

総じて、内部留保の着実な蓄積を背景に財務体質は改善傾向にあるが、資金的な余力までは窺えないことも勘案すると、短期的な資金繰りの動向には注意が必要になる。

既往業績・営業現況・将来性・企業特性……

【営業現況】

各種生産設備に付帯関連する産業用・民生用機械器具（専用機・汎用機）の製造業者で、業界では中堅処に位置する。

【企業特性】

生産ラインの接続部分への自社組入物に特色を持っており、固定先に対するラインの納入だけでなく、単品のスポット受注も常に数多く抱えている。得意先は多岐に及び、専門メーカー及び実需先を中心とした固定先に加え商社経由も多い。そのため、最終ユーザーとしては国内実需先だけでなく、中国を中心とした海外メーカーもあり、海外景気の影響を一部受ける面が見られる。生産は厚木工場を中心にその他外注先を利用して柔軟に対応している。

【平成25年9月期】

国内需要が刺激されたことで売上高89億45百万円と増収を果たした。利益面では増収に伴い、経常利益99百万円、当期純利益46百万円と増益。

【平成26年9月期】

最終ユーザーである中国需要に若干の落ち込みがあったものの、引き続き国内からの引き合いがあったことで売上高90億51百万円と続伸、利益面ではベースアップなどの給与還元につき、経常利益81百万円、当期純利益28百万円に留まった。

【平成27年9月期】

実需に於いては下期以降に中国需要が落ち込みがあったものの、他方で円高の影響に拠る需要の刺激があり、売上高は87億56百万円と前期比3.3%減に留まった。利益面では、原油安に拠る輸送コストの軽減などがあったものの、前年に引き続きベースアップを実施しており、経常利益は68百万円（前期比16.4%減）、当期純利益19百万円（前期比31.1%減）と2期連続の減益となった。

【将来性】

中国経済に陰りが見えていることもあり、従来の卸先だけではなく、新規開拓を進める方針。ドロップ分程度は賄えるものと見られ、平成28年9月期の売上高は88億円内外と微増を予定する。また、利益面では輸送コスト減の恩恵を受けることで経常利益1億円、当期純利益30百万円と持ち直す見込みにある。

現段階で営業面は弱含みの推移にあるが、今後の海外動向によっては業績面への更なる影響も避けられないところであり、資金面についても改善傾向ではあるものの、十分な内容とも言えないことから、評価としては多少抑えた内容となっている。

TSR REPORT

秘

不動産明細表

不動産登記簿から転記しております。

【物件住居表示】東京都中央区日本橋1-99-99

【代表者】サンプル 太郎

番号	所在地 地番 (家屋番号)	地目または構造	面積 (m ²)	取得日	所有者・その他
				取得原因	
1	中央区日本橋1丁目 99-97	宅地	53.70 m ²	昭和49年 8月21日 売買	東京都中央区日本橋1-99 -99 サンプル企業(株)
2	中央区日本橋1丁目 99-98	宅地	102.70 m ²	昭和49年 8月21日 売買	東京都中央区日本橋1-99 -99 サンプル企業(株)
3	中央区日本橋1丁目 99-99	宅地	98.10 m ²	昭和49年 8月21日 売買	東京都中央区日本橋1-99 -99 サンプル企業(株)
4	中央区日本橋1丁目 99-98、99-99 (鉄骨、陸屋根 99-99)	店舗・事務所 6F建	1,204.56 m ²	昭和49年12月25日 所有権保存	東京都中央区日本橋1-99 -99 サンプル企業(株)
			m ²		
			m ²		
			m ²		

抵当権設定の有無 (有り)

符号	登記年月日	抵当の種類	返済期限	債務者	債権者()内取扱店
	金額	原因・債権範囲	金利	住所及び氏名	住所及び氏名
A	昭和49年 8月21日 50,000万円	根抵当 銀行取引など	平成 年 月 日	サンプル企業(株) 東京都 千代田区大手町1-99-	サンプルバンク(新橋) 東京 都中央区中央1-1-1
B	昭和49年12月25日 90,000万円	根抵当 銀行取引など	平成 年 月 日	サンプル企業(株) 東京都 千代田区大手町1-99-	サンプルバンク(新橋) 東京 都中央区中央1-1-1
	万円				
	万円				
	万円				
	万円				

摘要	A: 共担(さ) 1234-(1, 2, 3, 4)の物件
	B: 共担(た) 4567-(1, 2, 3, 4)の物件
	A, B: 平成27年12月31日確認

TSR REPORT

秘

[TSR企業コード] 98-999999-8

[DUNSナンバー] 12-345-6789

[商号] サンプル企業(株)

財務分析

財務分析

(単位:千円)

比率名	算出式	平成25年 9月期		平成26年 9月期		平成27年 9月期		標準比率 業種コード (2664)	理想形	
		算出基礎	比率	算出基礎	比率	算出基礎	比率			
安全性比率	自己資本比率	自己資本	3,299,139	%	3,307,699	%	3,317,359	%	%	↗
		総資本	9,503,994	34.7	9,187,274	36.0	8,851,145	37.5	49.6	
			* 9,350,446	* 35.3	* 9,082,714	* 36.4	* 8,747,645	* 37.9	* 50.0	
	流動比率	流動資産	5,509,757	%	5,244,210	%	5,063,533	%	%	↗
		流動負債	3,654,462	150.8	3,508,231	149.5	3,289,080	153.9	197.4	
	当座比率	当座資産	4,257,435	%	4,101,121	%	3,938,080	%	%	↗
流動負債		3,654,462	116.5	3,508,231	116.9	3,289,080	119.7	141.0		
固定比率	固定資産	3,840,689	%	3,838,504	%	3,684,112	%	%	↘	
	自己資本	3,299,139	116.4	3,307,699	116.0	3,317,359	111.1	89.1		
有利子負債構成比率	有利子負債	3,146,569	%	2,978,212	%	2,858,380	%	%	↘	
	総資本	9,503,994	33.1	9,187,274	32.4	8,851,145	32.3	28.4		
資産・資本効率	受取債権回転率	年売上高	8,945,212	年 2.9回	9,051,322	年 3.0回	8,756,514	年 3.0回	年 4.3回	↗
		受取債権	3,137,552	128日	3,022,259	122日	2,908,492	121日	85日	
	棚卸資産回転率	年売上高	8,945,212	年 8.5回	9,051,322	年 9.0回	8,756,514	年 8.7回	年 7.8回	↗
		棚卸資産	1,052,563	43日	1,007,390	41日	1,004,787	42日	47日	
	固定資産回転率	年売上高	8,945,212	年 2.3回	9,051,322	年 2.4回	8,756,514	年 2.4回	年 2.0回	↗
		固定資産	3,840,689	157日	3,838,504	155日	3,684,112	154日	184日	
	総資本回転率	年売上高	8,945,212	年 0.9回	9,051,322	年 1.0回	8,756,514	年 1.0回	年 0.9回	↗
		総資本	9,503,994	* 1.0回	9,187,274	* 1.0回	8,851,145	* 1.0回	* 0.9回	
	支払債務回転率	年売上原価	7,346,542	年 3.3回	7,354,651	年 3.6回	7,275,612	年 3.8回	年 5.7回	↗
		支払債務	2,212,611	110日	2,071,327	103日	1,913,468	96日	65日	
収益性比率	総利益率	総利益	1,598,670	%	1,696,671	%	1,480,902	%	%	↗
		売上高	8,945,212	17.87	9,051,322	18.75	8,756,514	16.91	22.60	
	営業利益率	営業利益	206,570	%	191,449	%	176,770	%	%	↗
		売上高	8,945,212	2.31	9,051,322	2.12	8,756,514	2.02	4.49	
	経常利益率	経常利益	99,634	%	81,529	%	68,106	%	%	↗
		売上高	8,945,212	1.11	9,051,322	0.90	8,756,514	0.78	5.65	
純利益率	純利益	46,655	%	28,560	%	19,660	%	%	↗	
	売上高	8,945,212	0.52	9,051,322	0.32	8,756,514	0.22	3.16		
成長性比率	売上高増加率	当期売上高	8,945,212	%	9,051,322	%	8,756,514	%	%	↗
		前期売上高	8,850,365	101.1	8,945,212	101.2	9,051,322	96.7	103.5	
	経常利益増加率	当期経常利益	99,634	%	81,529	%	68,106	%	%	↗
前期経常利益	82,044	121.4	99,634	81.8	81,529	83.5	132.7			
従業員効率	1人1ヵ月売上高	従業員数	千円		千円		千円		千円	↗
		決算月数	1,887		1,954		1,910		1947	
	1人1ヵ月総費用	従業員数	千円		千円		千円		千円	↘
決算月数	1,844		1,913		1,872		1860			
期末従業員数		395名		386名		382名		75名		

表中の記号「↗」は、比率が9999.9%以上またはマイナス値の場合、及び回転率が100.0回以上の場合を示します。また回転日数の「0」は一日以下の場合を示します。

《備考》標準比率は「機械工具製造業」を適用。

*印は有価証券報告書提出基準に則り、脚注の割引手形、裏書譲渡手形を加味しないで算出した値です。TSRでは割引手形、裏書譲渡手形は債務として残るものとみなしており、信用調査機関として実態に近い財務分析を行なう為、総資本の一部として従来通りの計算により値を算出しております。

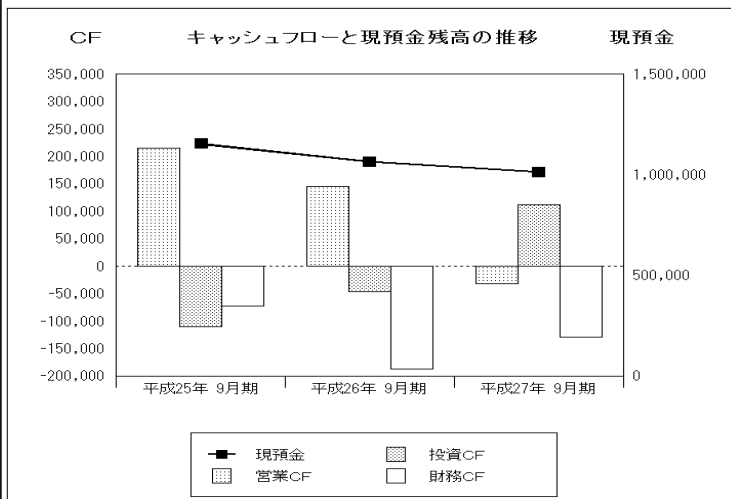
*E-2(H2)イ

推定キャッシュフロー計算書

(単位:千円)

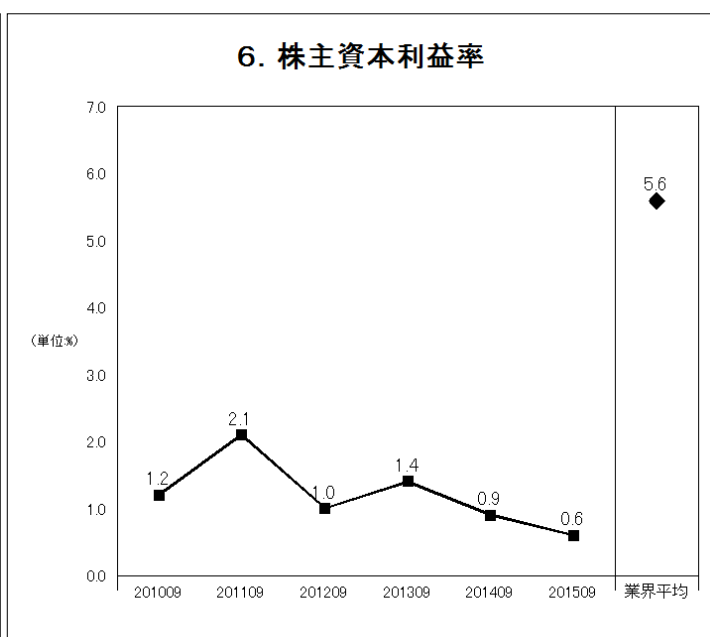
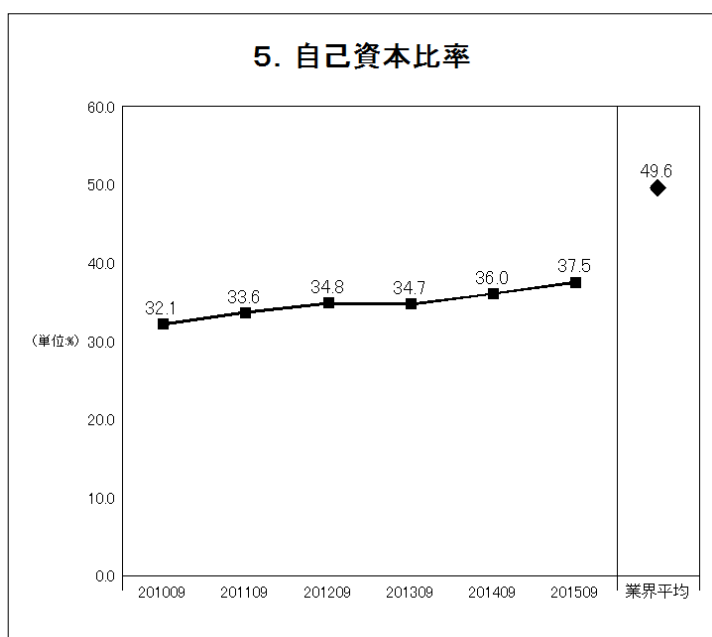
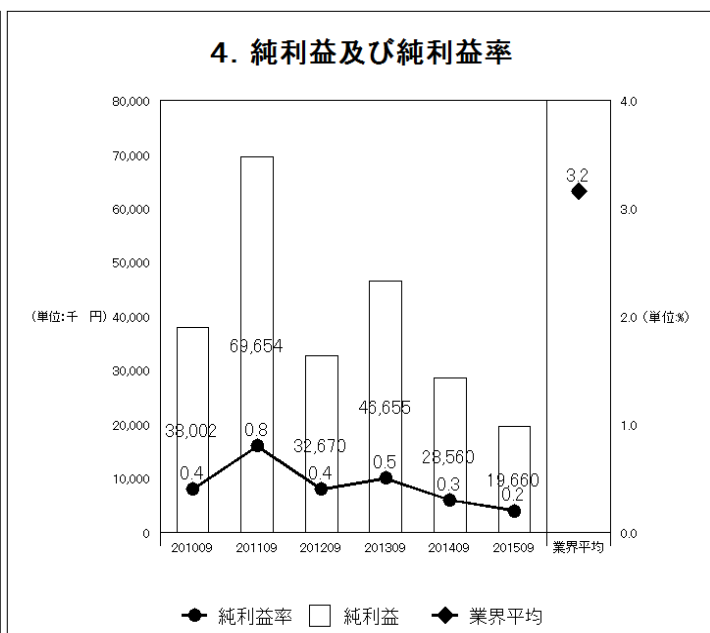
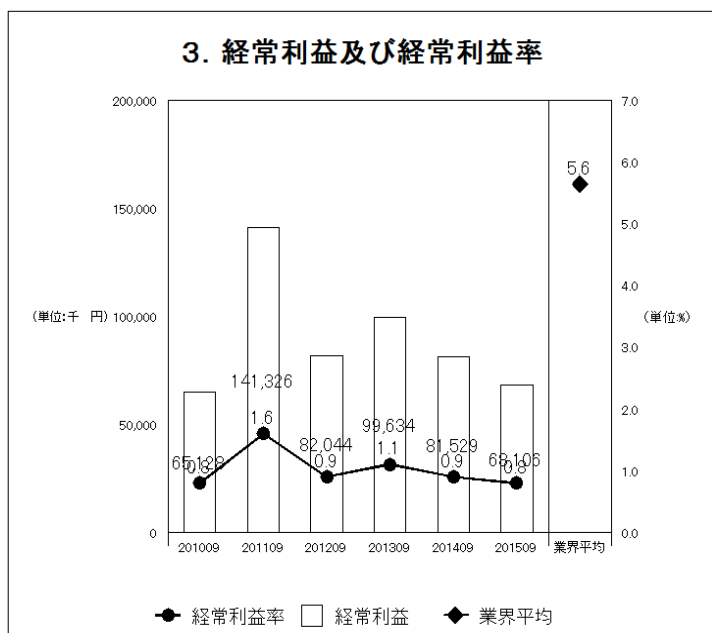
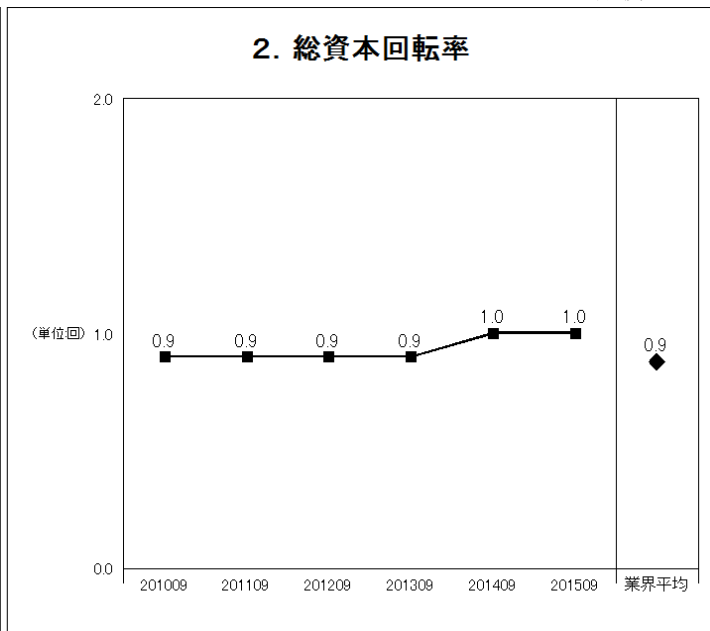
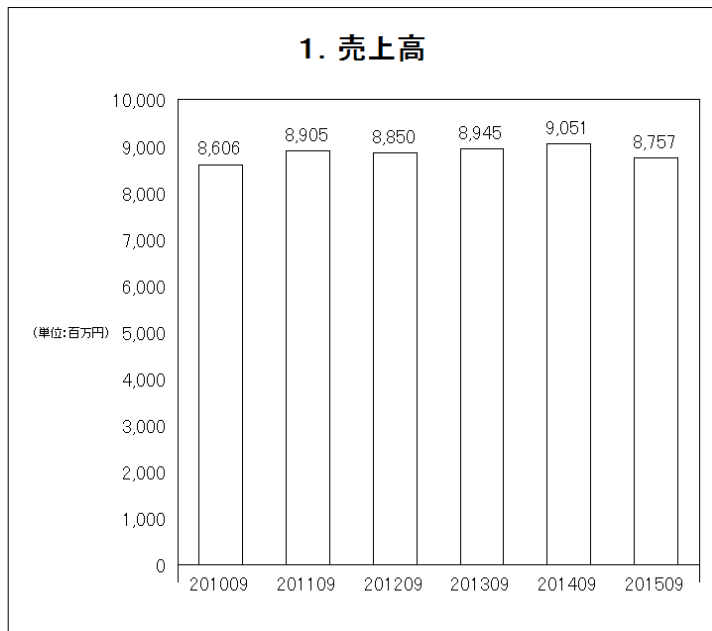
項目名	平成25年 9月期	増加率(%)	平成26年 9月期	増加率(%)	平成27年 9月期	増加率(%)
税引前当期純利益	111,655	56.8	95,610	-14.4	79,986	-16.3
減価償却費	64,638	4.2	48,652	-24.7	42,561	-12.5
減損損失	0	-	0	-	0	-
引当金の増減	9,304	-36.9	-5,592	-160.1	-32,018	-472.6
受取利息及び受取配当金	-11,200	-9.3	-11,200	0.0	-11,200	0.0
支払利息	62,351	3.0	61,354	-1.6	62,311	1.6
有価証券売却・評価損益	0	-	0	-	0	-
固定資産売却・評価損益	0	-	0	-	0	-
投資有価証券売却・評価損益	0	-	0	-	0	-
売上債権の増減	-13,857	-109.8	115,293	932.0	113,767	-1.3
棚卸資産の増減	-26,721	-790.5	45,173	269.1	2,603	-94.2
支払債務の増減	78,754	149.0	-141,284	-279.4	-157,859	-11.7
その他営業活動による増減	48,749	1242.9	58,612	20.2	-20,913	-135.7
小計	323,673	73.2	266,618	-17.6	79,238	-70.3
利息及び配当金の受取額	11,200	9.3	11,200	0.0	11,200	0.0
利息の支払額	-62,351	-3.0	-61,354	1.6	-62,311	-1.6
法人税等の支払額	-58,212	-60.4	-71,649	-23.1	-60,460	15.6
営業活動によるCF	214,310	113.8	144,815	-32.4	-32,333	-122.3
有価証券の増減	0	-	0	-	0	-
固定資産の増減	-172,271	-252.0	28,429	116.5	66,276	133.1
投資有価証券の増減	-79,375	-684.8	-60,142	24.2	0	100.0
貸付金の増減	-8,158	-	0	100.0	2,035	-
その他投資活動による増減	148,505	1104.7	-14,754	-109.9	43,520	395.0
投資活動によるCF	-111,299	-196.3	-46,467	58.3	111,831	340.7
フリーキャッシュフロー	103,011	-52.3	98,348	-4.5	79,498	-19.2
短期借入金の増減	-115,006	-2718.1	-48,988	57.4	-1,060	97.8
長期借入金の増減	62,694	158.9	-119,369	-290.4	-118,772	0.5
社債の増減	0	-	0	-	0	-
リース債務の増減	0	-	0	-	0	-
資本金の増減	0	-	0	-	0	-
自己株式の増減	0	-	0	-	0	-
配当金の支払額	-20,000	0.0	-20,000	0.0	-10,000	50.0
その他財務活動による増減	0	-	0	-	0	-
財務活動によるCF	-72,312	44.6	-188,357	-160.5	-129,832	31.1
現預金の増減	30,699	-64.0	-90,009	-393.2	-50,334	44.1
現預金の期首残高	1,122,732	8.2	1,153,431	2.7	1,063,422	-7.8
現預金の期末残高	1,153,431	2.7	1,063,422	-7.8	1,013,088	-4.7

脚注	BSの当期現預金残高	1,153,431	1,063,422	1,013,088
----	------------	-----------	-----------	-----------



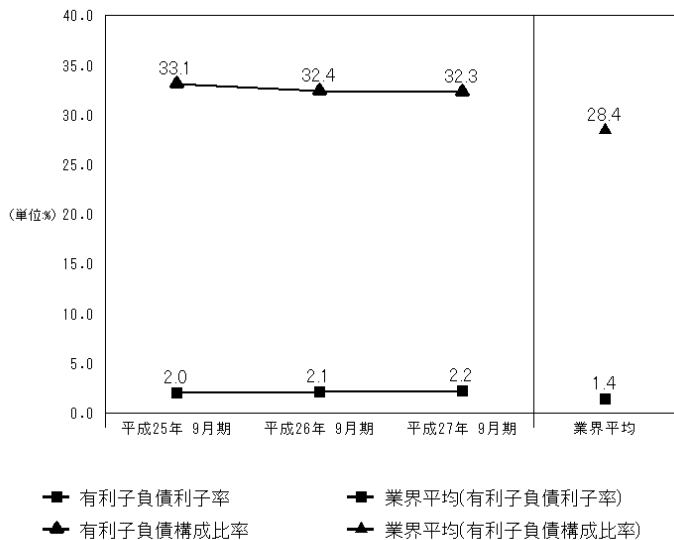
分析項目	平成25年 9月期	平成26年 9月期	平成27年 9月期
キャッシュフロー・マージン(%) 〔営業CF ÷ 売上高 × 100〕	2.40	1.60	-0.37
CFインテレストカバレッジレシオ(倍) 〔(営業CF + 支払利息・割引料) ÷ 支払利息・割引料〕	4.44	3.36	0.48
CF有利子負債返済能力(年) 〔有利子負債 ÷ フリーCF〕	30.55	30.28	35.96

*本表は公開された決算書のうち、連続した決算期の財務数値に基づく推定数値です。

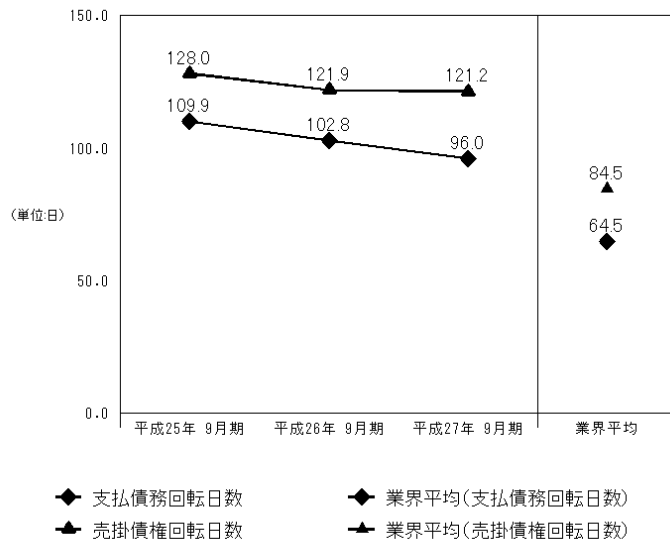


(注1) ◆は各比率の最新決算期における業界平均を表示しています。
ただし、業界平均が目盛の最大値を超える場合は「最大値」、最小値を下回る場合は「最小値」として表示しています。
(注2) グラフ「1」～「6」は、必要な数値の入手状況によって、グラフを作成できない場合、または不連続となる場合がございます。

7. 有利子負債構成比率・有利子負債利率

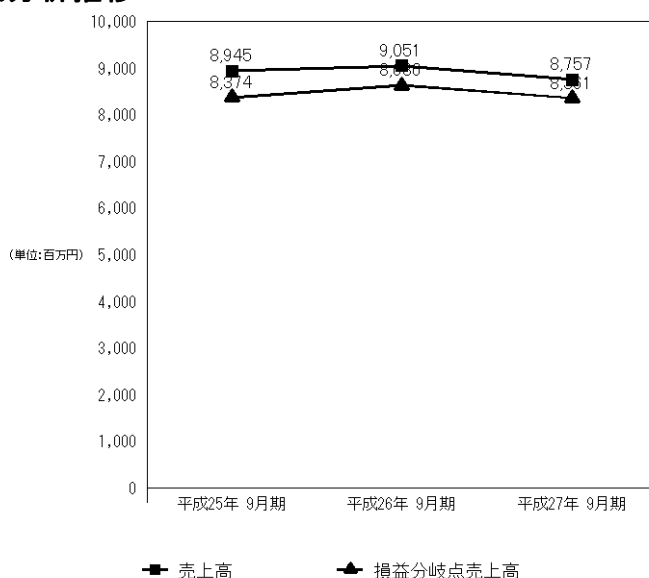


8. 売掛債権回転日数・支払債務回転日数

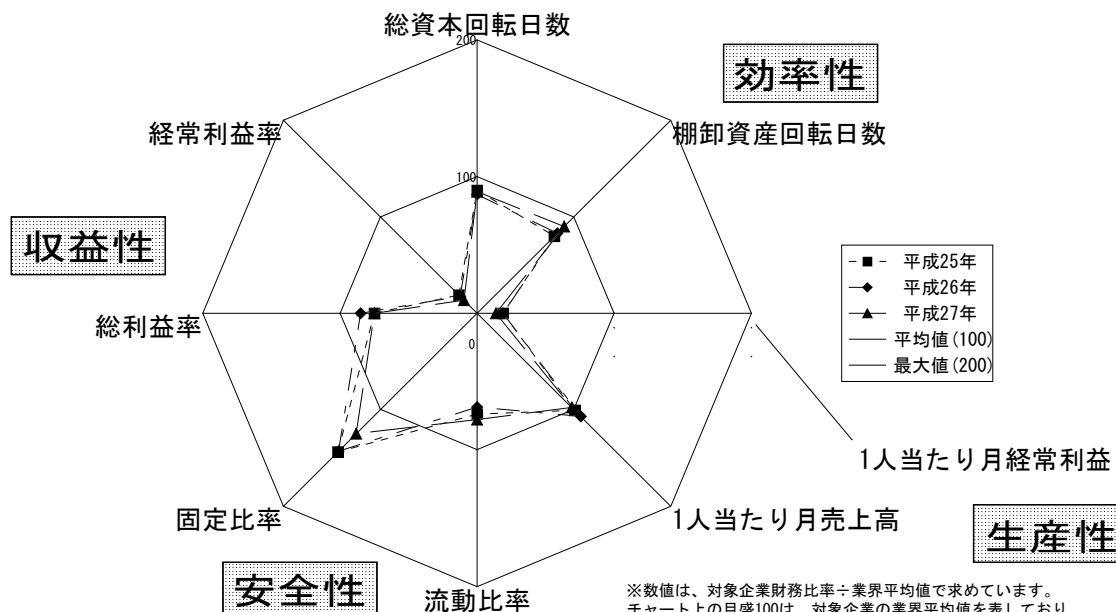


9. 損益分岐点分析推移

項目	平成25年 9月期	平成26年 9月期	平成27年 9月期
売上高	8,945	9,051	8,757
損益分岐点売上高 (固定費÷限界利益率)	8,374	8,636	8,361
変動費	7,347	7,355	7,276
限界利益 (売上高-変動費)	1,598	1,696	1,481
限界利益率 (限界利益÷売上高×100)	17.9%	18.7%	16.9%
固定費	1,499	1,615	1,413
売上高損益分岐点倍率 (売上高÷損益分岐点売上高)	1.07	1.05	1.05



10. 財務レーダーチャート



(注1) グラフ「7」～「10」は、決算書の入手状況によって、グラフを作成できない場合、または不連続となる場合がございます。
(注2) 有利子負債利率=「支払利息割引料」÷「期末有利子負債」×100、その他の比率の算出式は本頁又は別紙「財務分析」をご覧ください。